一般演題（口演：優秀演題口演）

第1会場：3F メインホール

優秀演題口演 ［メディカルスタッフ部門］ 14:30 ～ 15:20

座長：安野　哲彦（福岡大学筑紫病院）
浜内　和也（福岡大学病院　臨床工学センター）

AO-001 透析患者における通院継続を目的とした透析前リハビリテーションと短時間型通所リハビリテーションの有用性

医療法人今村クリニック
永井　温菜、峯浦　達雄、武石真奈美、原　祥一朗、藤田　淳也、今村　克郎

AO-002 触診とエコーによる血流評価を双方向で繋げる教育モデルの構築 FV・RI 推測技術およびエコー測定技術の検討

[1]医療法人北九州腎臓クリニック、[2]医療法人新北九州腎臓クリニック
平安　慶成[1]、塚原　健太[1]、郄　　月玲[1]、海津梓奈子[1]、海津　嘉毅[1]、稲田　良郁[2]、
海津　嘉蔵[2]

AO-003 外来維持透析患者における透析後回復時間延長と関連因子の検討

[1]松下会あけぼの第2クリニック臨床工学部、[2]松下会あけぼのクリニック臨床工学部、
[3]松下会あけぼのクリニック腎臓内科
桑原　史佳[1]、牧野　　稔[1]、徳冨　高志[2]、松下　恭久[3]、田中　元子[3]、松下　和孝[3]

AO-004 血液透析導入患者における生体的インピーダンス法によるドライウェイト (DW) と臨床的 DW の乖離の検討

[1]福岡大学病院　臨床工学センター、[2]福岡大学病院　腎臓・膠原病内科
城尾　和司[1]、樋口　諒成[1]、馬場絵里香[1]、山﨑慎太郎[1]、小畠　勝司[1]、浜内　和也[1]、
伊藤　建二[2]、升谷　耕介[2]

AO-005 災害時情報伝達体制の強化を目的とした透析患者向け SMS 配信システムの運用経験と課題

[1]医療法人社団如水会 嶋田病院 臨床工学部、[2]医療法人社団如水会 嶋田病院 腎臓内科
髙見　賢也[1]、坂崎真太郎[1]、西村　典史[1]、池田　拡行[2]、嶋田　英敬[2]

第6会場：4F 409+410

優秀演題口演 ［医師部門］ 14:30 ～ 15:30

座長：山田　俊輔（九州大学病院　腎疾患治療部）
豊田麻理子（熊本赤十字病院　腎臓内科）

AO-007 当院におけるADPKD患者4例のPD導入と継続性の検討

熊本大学病院

星野　朱音、岡川　裕子、藤本　大介、神吉　智子、中川　輝政、宮里　賢和、水本　輝彦、横井　秀基

AO-008 高齢腹膜透析患者のeGFR slopeと残存腎機能の関連

小倉記念病院　腎臓内科

木村　駿太、岩田　寛子、中垣　仁博、桑原　郁子、原田　健司

AO-009 維持透析患者におけるポリファーマシーと生命予後および睡眠薬との関連の検討

[1]長崎大学病院 腎臓内科、[2]たかさご腎クリニック、[3]佐世保市総合医療センター 腎臓内科

鳥越　健太[1,2]、池見　悠太[2]、露木　智久[1]、岩田　麻有[1]、松尾さゆみ[2,3]、辻　　清和[1]、鳥越　未来[1]、北村　峰昭[1]、西野　友哉[1]

AO-010 行政と連携した献腎移植後進県からの脱却の試み

[1]大分大学医学部　腎泌尿器外科学、[2]大分大学医学部　臓器移植医療連携強化事業

伊藤　優吾[1]、安藤　忠助[2]、秦　　聡孝[1]

AO-011 慢性活動性T細胞関連拒絶反応に対する抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン投与でDIC様の所見を呈した一例

九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科

中野　佳子、松隈　裕太、岩村　成蕗、植木　研次、土本　晃裕、山田　俊輔、中野　敏昭

AO-012 保存期CKD療法選択外来の現状と80歳以上のHD・CKM選択患者の予後

飯塚病院　腎臓内科

岡村のぞみ、福満　研人、塩瀬　遥佳、松尾　佳奈、木村　佳奈、西田　明弘、藤﨑毅一郎

一般演題（口演）

第1会場：3F メインホール

一般口演 1 ［腹膜透析 1］　9:00 ～ 9:35

座長：不動寺美紀（日本赤十字社　福岡赤十字病院）
森田　　理（福岡大学病院看護部）

O-001 在宅が治療の主役となる時代へ―訪問看護が支える日本初，日帰り腹膜透析―

[1]訪問看護　テレサ、[2]医療法人　今村クリニック、[3]正木クリニック、
[4]ファミリーヘルスクリニック北九州
吉岡奈緒子[1]、今村　克郎[2]、正木　紀之[3]、原　祥一郎[2]、進谷　憲亮[4]

O-002 無床クリニックにおける安全な日帰り PPAP 導入への取り組み

[1]正木クリニック、[2]訪問看護テレサ、[3]医療法人今村クリニック　腎臓内科、
[4]関西ろうさい病院　腎臓内科
藤井　久恵[1]、正木　知代[1]、三郎丸望美[1]、久保　沙希[1]、吉岡奈緒子[2]、今村　克郎[3]、
大田南欧美[4]、正木　紀行[1]

O-003 HD 導入後、通院困難となった患者に対して PD へ移行し特別養護老人ホームで看取りを経験した 1 例

医療法人　今村クリニック
柴田　幸代、原　祥一朗、和賀井未来、後藤　泰輔、吉武　律子、藤田　淳也、今村　克郎

O-004 腹膜透析患者の受け入れを支援する薬薬連携 - 導入時から退院後まで -

[1]公立学校共済組合九州中央病院　薬剤科、[2]公立学校共済組合九州中央病院　腎臓内科
飯田　浩子[1]、吉田　宣政[1]、満生　浩司[2]

O-005 看護小規模多機能型居宅介護の支援により CAPD を長期継続できた要介護者の 1 例

[1]看護小規模多機能型居宅介護事業所　とりい、[2]西南女学院大学保健福祉学部看護学科、
[3]あけぼのクリニック腎臓内科、[4]済生会熊本病院　腎臓内科
山本　英貴[1]、幸　　史子[2]、松下　恭久[3]、田中　元子[3]、松下　和孝[3]、早田　　学[4]、
副島　一晃[4]

第2会場：5F 501

一般口演2 ［看護 - 患者教育・指導］ 9:00 ～ 9:56

座長：田原　恒（医療法人平川内科クリニック）
山里　美幸（福岡大学病院　血液浄化療法センター）

O-006 透析患者の防災意識向上につながる取り組み

医療法人社団苑田会　公立小浜温泉病院
橋本　友紀、吉谷　亜衣、石見　理沙、松山　千賀、平山真由美、城代　和美、森田　樹里、柴田　彩美、森川　慎也、江越チエミ

O-007 新規外来患者カンファレンス実施による情報共有の促進と患者支援への影響

社会医療法人天神会　新古賀リハビリテーション病院みらい
清永　恵子、田中　公美

O-008 セルフケア能力を高めるEASEプログラムを用いた透析患者への関わり方の一考

大分三愛メディカルセンター
坂本　芳枝、三浦　律子、神出　弘美、大亀かおる、花田　麻里、大野　仁、今川　全晴

O-009 飲酒習慣のある維持透析患者の行動の変容に向けた一考察ーオレムのセルフケア不足理論に基づく看護支援ー

[1]信愛クリニック、[2]重松クリニック
三谷　美香[1]、濵口　博香[2]、守屋　洋子[2]

O-010 再SDMが患者のQOL向上につながったHHDの1例

[1]福岡大学病院　血液浄化療法センター、[2]福岡大学医学部　腎臓膠原病内科
山里　美幸[1]、血液浄化療法センター HHD支援チーム[1]、多田　和弘[2]、伊藤　建二[2]、升谷　耕介[2]

O-011 SDM外来における系列医院との連携強化の試み―SDMシート・情報提供用紙の導入と効果―

[1]医療法人　北九州腎臓クリニック、[2]医療法人　新北九州腎臓クリニック
野口　幸子[1]、三神　綾香[1]、日吉佐智代[1]、平安　慶成[1,2]、林　勝之[1,2]、吉田　幸子[1]、中野　久栄[1]、海津　嘉毅[1]、案西　敦子[2]、海津　嘉蔵[2]

O-012 外来透析患者における服薬状況の実態調査

宇土中央クリニック
市川　椎奈、中田　美穂、坂本　千秋、久木山清貴、久木山厚子

O-013 ポリファーマシー対策を取り組む為に ～アンケート調査を実施して～

医療法人　医心会　福岡腎臓内科クリニック
山口　緑、橋本　幸子、中川　香織、河野喜代美、谷口　正智、平方　秀樹

一般口演3 ［看護-心理・精神・高齢者、他］　10:00 ～ 10:56

座長：安藤　恭代（佐賀大学医学部付属病院）
吉田　将太（原三信病院　腎臓病センター）

O-014 身体的拘束が認知機能障害をもつ高齢者に及ぼす影響

医療法人真鶴会　小倉第一病院
花田　佳子、桑原由紀恵、中村　秀敏

O-015 重症大動脈弁狭窄症を有する透析患者に対するTAVIの効果 ～ ADLおよび透析管理の視点から～

医療法人財団はまゆう会　新王子病院
前田　幸子、清水　貴弘、大谷　麻岐、佐藤　憲仁、瀬川賀世子、西島　博満、筏島　明彦

O-016 遺伝性多重癌を合併した透析患者のエンドオブライフケア～病状変容時の意向に即した在宅看取りへの支援～

医療法人財団はまゆう会　新王子病院
西村美津子、常藤　　仁、渡邉　貴子、大谷　麻岐、佐藤　憲仁、瀬川賀世子、西島　博満、筏島　明彦

O-017 外来血液透析患者への多職種による生活支援のためのシステム構築の取り組み～フレイル早期発見の実態調査～

[1]久留米大学病院　外来看護部、[2]久留米大学病院　東棟9階病棟/腎臓センター、
[3]久留米大学病院　リハビリテーション部、[4]久留米大学病院　内科学講座腎臓内科部門
宇佐　希美[1]、西尾　由香[2]、吉川　陽子[2]、廣畑　紀世[1]、原野　裕司[3]、柴田　　了[4]、
深水　　圭[4]

O-018 透析中止を選択した患者への意思決定支援ー医療者の葛藤と支援のあり方ー

[1]仁誠会クリニックながみね、[2]仁誠会クリニック大津
池田　聡美[1]、北野　良子[1]、本田　浩美[1]、田尻さえ子[2]、斉藤　　薫[2]、渕田ますみ[2]

O-019 生活目標を軸とした多職種連携により主体的な行動変容が見られた超高齢透析患者の一例

野尻会　熊本泌尿器科病院
山下あずさ、中村　紫織、小島　郁恵、住谷　武彦、東　あずさ、深山　美香、米田　智子、野上　千佐、野尻　明宏

O-020 透析困難症を契機とした看取りにおける病院ー特別養護老人ホーム間の連携

[1]社会福祉法人照善会こくら庵、[2]医療法人衆和会長崎腎病院
吉田南七星[1]、江嶋　祐介[1]、藤原　久子[2]、舩越　　哲[2]

O-116 透析出血感知センサーを使用している患者の思い

医療法人社団信愛会　重松クリニック
青木　理沙、内田　　皓、守屋　洋子

第3会場：5F 502+503

一般口演4 ［合併症・血液透析1］ 9:00 ～ 10:10

座長：菊池　正雄（宮崎大学医学部附属病院　血液浄化療法部）
鳥巣久美子（九州大学　包括的腎不全治療学）

O-021 内シャント感染から敗血症、感染性心内膜炎を呈した維持透析患者の1例

[1]長崎大学病院　血液浄化療法部、[2]長崎大学病院　泌尿器科・腎移植外科、
[3]長崎大学病院　心臓血管外科
倉田　博基[1]、大坪亜紗斗[2]、中村裕一郎[2]、光成　健輔[2]、松尾　朋博[2]、大庭康司郎[2]、
北村　峰昭[1]、松丸　一朗[3]、西野　友哉[1]、今村　亮一[2]

O-022 S状結腸穿孔による敗血症性ショックに対しPMXを施行した維持透析患者の一例

[1]大分県厚生連鶴見病院腎臓内科、[2]大分県厚生連鶴見病院消化器外科、[3]医療法人聡明会児玉病院
戸高　航平[1]、有馬　　誠[1]、幸　　奈菜[1]、油布　桃花[1]、柴田　浩平[2]、野口　琢矢[2]、
佐藤　健吾[2]、藤原　景司[2]、安森　亮吉[3]

O-023 人工血管感染を伴わなかった維持血液透析患者のMSSA感染性心内膜炎の一例

福西会病院
中村　芙美、安田　　勇、浜内　亜希

O-024 維持血液透析患者のシャント感染を契機に化膿性脊椎炎、細菌性髄膜炎を発症した1例

久留米大学腎臓内科
藤井　美多、宮原　弘樹、河野麻由子、三ツ石祐太、中野　　薫、深水　　圭

O-025 在宅血液透析におけるシャント感染の実態と転帰

[1]医療法人衆和会　長崎腎病院・長崎腎クリニック・大村腎クリニック、
[2]長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科
酒井すずな[1,2]、大野　桜子[1]、森田　輝海[1]、澤瀬　健次[1]、前川　明洋[1]、橋口純一郎[1]、
今村　亮一[2]、舩越　　哲[1]

O-026 当院整形外科で手術を受けた血液透析患者の検討

宮崎大学医学部附属病院
菊池　正雄、馬場　明子、海北　幸一、藤元　昭一

O-027 当院心臓血管外科で手術を受けた血液透析患者の検討

宮崎大学医学部附属病院
菊池　正雄、馬場　明子、海北　幸一、藤元　昭一

O-028 透析歴20年以上の維持血液透析患者における心血管表現型の均質性

長崎腎病院
大野　桜子、酒井すずな、澤瀬　健次、森田　輝海、舩越　　哲

O-029 外来透析施設における足潰瘍・壊疽の継続的創傷管理

[1]信愛会　信愛クリニック、[2]信愛会　重松クリニック
吉田　淳一[1,2]、庄垣内良人[1]、天本宗次郎[2]、木下　嘉昭[2]、竹中　克彦[2]、重松　　勝[2]

O-030 離島においてレオカーナ®を含む集学的治療により救肢し得た難治性足趾潰瘍の一例

[1]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学、[2]長崎県壱岐病院腎臓内科、[3]長崎県壱岐病院内科
中村　　翼[1,2]、藤田　崇史[3]、井上　　和[1]、多田　和弘[1]、嶋本　　聖[1]、渡邉　真穂[1]、
伊藤　建二[1]、大西　　康[3]、升谷　耕介[1]

一般口演5 ［合併症・血液透析2］　10:15 ～ 11:25

座長：水政　　透（うえの病院　血液透析内科）
福田聡一郎（ふくだ泌尿器科）

O-031 維持透析期ADPKDの腎・肝容積からみたTAEの適応と治療後評価―5例の3D volumetry―

[1]医療法人衆和会 大村腎クリニック、[2]医療法人衆和会 長崎腎病院
前川　明洋[1]、宮本　教司[1]、辻　　誠[1]、徳永　直紀[1]、舩越　　哲[2]

O-032 常染色体優性多発性嚢胞腎を原疾患とする長期透析患者に発生した腎細胞癌の2例

[1]松下会あけぼのクリニック腎臓内科、[2]熊本大学医学部泌尿器科
松下　恭久[1]、田中　元子[1]、南　　省吾[1]、松下　和孝[1]、笹岡　祐次[2]、神波　大己[2]

O-033 PTX-A後の移植腺腫大により治療に難渋した再発性二次性副甲状腺機能亢進症(SHPT)の一例

[1]北九州腎臓クリニック、[2]済生会八幡総合病院腎センター、[3]産業医科大学病院内分泌外科
海津　嘉毅[1]、安永　親生[2]、郄　　月玲[1]、井上　　譲[3]

O-034 抗血栓症薬が原因と考えられるびまん性肺胞出血を発症した維持透析患者の1例

[1]都城市郡医師会病院腎臓内科、[2]都城市郡医師会病院呼吸器内科、[3]都城市郡医師会病院副院長
野中　智仁[1]、皆川　明大[1]、岩坪　修司[1]、貝田　英之[2]、岩切　弘直[3]

O-035 透析終了時止血不良で慢性DICが判明した胸部大動脈解離治療後の2例

[1]産業医科大学病院　第2内科、[2]産業医科大学病院　腎センター
福壽　亮仁[1]、熊澤　直哉[1]、蒔田　紀子[1]、永井陽一郎[1]、菅　　亮太[2]、眞田　賢哉[2]、
長谷川恵美[2]、宮本　　哲[2]

O-036 長時間血液透析患者におけるジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物（SZC）の有用性―栄養指標の検討

[1]医療法人　幸善会　前田病院、[2]医療法人　幸善会　天神オーバーナイトクリニック
服巻日向子[1]、林　　和歌[1]、西山　　凜[1]、中島　　唯[1]、前田　麻木[1]、前田　篤宏[1]、
武田　一人[2]、前田　利郎[2]

O-037 亜鉛製剤内服により銅欠乏性血球減少症を来した血液透析患者の1例

[1]小倉記念病院腎臓内科、[2]飯塚病院腎臓内科
眞崎　亮浩[1]、島子　佑斗[2]、末次　駿一[2]、岡村のぞみ[2]、西田　明弘[2]、中俣　悠亮[2]、
福満　研斗[2]、藤崎毅一郎[2]

O-038 NRI-JH低リスク血液透析患者における位相角低値の臨床的意義と長期予後

医療法人百武医院
正野　武文、百武　宏幸

O-039 門脈体循環シャントによる高アンモニア血症に対し保存的加療で改善を得た血液透析患者の1例

社会医療法人　製鉄記念八幡病院　腎臓内科
谷　有沙美、松島　怜央、吉澤　尚吾、吉住瑛理子、大塚　美香、大仲正太郎、柳田　太平

O-040 血液透析患者における大腸・肺がん罹患リスク―一般住民との比較―

[1]首里城下町クリニック第二、[2]首里城下町クリニック第一、
[3]沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、[4]琉球大学病院血液浄化療法部、
[5]沖縄心臓腎臓機構
新川　葉子[1,2]、石田百合子[1]、諸見里拓宏[3]、比嘉　啓[1]、田名　毅[2]、古波蔵健太郎[4]、
井関　邦敏[5]

第4会場：4F 401+402+403

一般口演6 ［移植］　9:00 ～ 9:56

座長：今村　亮一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器科学分野）
安藤　忠助（大分大学医学部　臓器移植医療連携強化事業）

O-041 腎移植後の内シャント閉鎖術の術式選択について

医療法人英慶会　三愛クリニック
知念　澄志、田中三津子

O-042 腎移植後の膵癌の2例

[1]大分大学医学部　腎泌尿器外科学、[2]大分大学医学部　臓器移植医療連携強化事業
伊藤　優吾[1]、安藤　忠助[2]、藤浪　弘行[1]、秦　聡孝[1]

O-043 肺移植後に発症したBKポリオーマウイルス腎症の1例

[1]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学、[2]宮崎県立宮崎病院、[3]福岡大学病院呼吸器・乳腺・小児外科、
[4]福岡大学医学部病理学講座
大藪裕太郎[1,2]、竹内　亮[1]、内屋敷佳弘[1]、多田　和弘[1]、嶋本　聖[1]、渡邉　真穂[1]、
伊藤　建二[1]、宮原　聡[3]、上杉　憲子[4]、升谷　耕介[1]

O-044 腎代替療法選択における共同意思決定が生体腎移植の臨床的特徴に及ぼす影響

[1]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学、[2]福岡大学病院看護部、[3]福岡大学医学部腎泌尿器外科学
望月　彰人[1]、多田　和弘[1]、嶋本　　聖[1]、髙橋　宏治[1]、伊藤　建二[1]、横山　陽子[2]、
立花　昌寛[3]、中村　信之[3]、羽賀　宣博[3]、升谷　耕介[1]

O-045 生体腎移植後末期腎不全患者に対し血液透析との長期併用療法が可能であった１例

[1]長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科、
[2]大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学講座（泌尿器科学）、
[3]関西メディカル腎移植クリニック
河田　　賢[1]、松島　俊樹[1]、山田　翔大[1]、倉田　博基[1]、松田　　剛[1]、中澤　成晃[2]、
角田　洋一[2]、高原　史郎[3]、野々村祝夫[2]、今村　亮一[1]

O-046 生体腎移植後 graft intolerance syndrome を呈した２例

[1]長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科、[2]長崎大学病院腎臓内科、[3]関西メディカル腎移植クリニック
山田　翔大[1]、松島　俊樹[1]、倉田　博基[1]、河田　　賢[1]、松田　　剛[1]、辻　　清和[2]、
北村　峰昭[2]、高原　史郎[3]、西野　友哉[2]、今村　亮一[1]

O-047 DFPP を含む脱感作療法を行った、ドナー特異抗体陽性生体肺移植の一例

[1]福岡大学医学部　腎臓・膠原病内科、[2]福岡大学医学部　呼吸器・乳線・小児外科
竹内　　亮[1]、井上　　和[1]、多田　和弘[1]、嶋本　　聖[1]、渡邉　真穂[1]、宮原　　聡[2]、
伊藤　建二[1]、早稲田龍一[2]、白石　武史[2]、升谷　耕介[1]

O-048 腎機能に注目した膵島移植の適応について

[1]福岡大学　再生移植医学講座、[2]福岡大学病院　再生医療センター、[3]東北大学病院　総合外科
坂田　直昭[1,2]、山田　哲平[1,2]、吉松　軍平[3]、小玉　正太[1,2]

第５会場：4F 405+406

一般口演７［腹膜透析２］　9:00 ～ 9:49

座長：徳本　正憲（福岡赤十字病院　腎臓内科）
牟田久美子（長崎大学医学部医学科先端医育センター）

O-049 完全無入院PD導入プログラムの構築 一日帰り PPAP と地域連携による新たな腹膜透析導入モデルー

[1]医療法人 今村クリニック、[2]正木クリニック、[3]訪問看護テレサ、[4]訪問看護ステーションひよこ、
[5]ファミリーヘルスクリニック北九州
今村　克郎[1]、正木　紀行[2]、正木　知代[2]、吉岡奈緒子[3]、岡下　栄子[4]、柴田　幸代[1]、
後藤　泰輔[1]、和賀井未来[1]、原　祥一朗[1]、進谷　憲亮[5]

O-050 当院における経皮的腹膜透析カテーテル留置術（PPAP）臨床的有用性の検討

[1]正木クリニック、[2]訪問看護テレサ、[3]今村クリニック、[4]関西ろうさい病院
正木　紀行[1]、三郎丸望美[1]、藤井　久恵[1]、久保　沙希[1]、正木　知代[1]、吉岡奈緒子[2]、
今村　克郎[3]、大田南欧美[4]

O-051 腹壁瘢痕ヘルニア合併CKD患者に腹腔鏡下ヘルニア根治術とPDカテーテル留置術を一期的に行った1例

[1]白十字病院　腎臓内科、[2]白十字病院　外科
末松稜汰朗[1]、東　　和樹[1]、木村　廣志[1]、星野　滉大[2]、谷　　博樹[2]、林　　佐保[1]、
酒匂　哲平[1]、浅生　義人[2]、平野　直史[1]

O-052 頻回のバスキュラーアクセス不全を契機に腹膜透析へ移行した一例

一般財団法人　平成紫川会　小倉記念病院　腎臓内科
馬本　大暉、坪田　孝樹、眞崎　亮浩、木村　駿太、岩田　寛子、岡本　和大、中垣　仁博、
桑原　郁子、原田　健司

O-053 移植腎廃絶後に腹膜透析で再導入を行った4例

[1]鹿児島大学病院血液浄化療法部、[2]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科泌尿器科学分野
川原凜太郎[1]、東　駿大郎[2]、中川　七海[2]、有馬　純矢[2]、見附　明彦[2]、坂口　　大[2]、
吉野　裕史[2]、鑪野　秀一[2]、山田　保俊[1]、榎田　英樹[2]

O-054 慢性期腹膜透析患者の長期入院の経験からみえた課題

[1]前田病院、[2]天神オーバーナイト透析クリニック
西山　　凜[1]、林　　和歌[1]、服巻日向子[1]、中島　　唯[1]、前田　麻木[1]、前田　篤宏[1]、
武田　一人[2]、前田　利朗[2]

O-055 当院の腹膜透析関連腹膜炎の現況

[1]長崎みなとメディカルセンター　腎臓内科、[2]長崎大学病院　腎臓内科
玉置　　明[1]、山下　　裕[1]、森本　美智[1]、福田はるか[1]、阿部　伸一[1]、西野　友哉[2]

一般口演8 ［腹膜透析3］　10:00 ～ 10:56

座長：池田　直子（宮崎県立宮崎病院　腎臓内科）
伊藤　建二（福岡大学医学部　腎臓・膠原病内科学）

O-056 Moraxella osloensisを含む複数菌が検出された腹膜透析関連腹膜炎の1例

福岡大学病院　腎臓・膠原病内科
内屋敷佳弘、杉元悠太郎、井上　　和、嶋本　　聖、多田　和弘、渡邉　真穂、伊藤　建二、
升谷　耕介

O-057 Mycobacterium abscessusを起炎菌とする腹膜透析関連腹膜炎の一例

[1]鹿児島大学　泌尿器科、[2]八木クリニック、[3]鹿児島市立病院
中川　七海[1]、有馬　純矢[1]、川原凜太郎[1]、松本　紳吾[3]、喜入　　亨[3]、見附　明彦[1]、
坂口　　大[1]、八木　静男[2]、山田　保俊[1]、榎田　英樹[1]

O-058 Mycobacterium fortuitumによるPDカテーテルトンネル感染の1例

宮崎大学医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野
鬼塚　遥菜、落合　彰子、根井陽菜子、黒田　彩加、皆川　明大、馬場　明子、稲垣　浩子、
菊池　正雄、海北　幸一、藤元　昭一

O-059 腹部手術後の腹膜透析再開から2か月後に遅発性透析液リークを認めた1例

小倉記念病院
岩田　寛子、桑原　郁子、坪田　孝樹、深村　　光、眞崎　亮浩、神山　治木、木村　駿太、岡本　和大、中垣　仁博、原田　健司

O-060 腹膜透析施行中に発症し、脳室-心房シャントで認知機能が著明に改善した正常圧水頭症の一例

福岡大学病院　腎臓・膠原病内科
飯田　和弘、伊藤　建二、多田　和弘、井上　　和、嶋本　　聖、氷室　尚子、三宅　勝久、升谷　耕介

O-061 APD使用時にのみ排液不良を呈した卵管采巻絡の腹膜透析の1例

[1]大分大学医学部附属病院　内分泌代謝膠原病腎臓内科学講座、[2]大分大学　福祉健康科学部
内田　大貴[1]、森　　咲文[1]、山本　卓哉[1]、三枝　千智[1]、和田　萌美[1]、鈴木　美穂[1]、工藤　明子[1]、福田　顕弘[1]、中田　　健[2]、柴田　洋孝[1]

O-062 片側胸水貯留で判明した横隔膜交通症に対して胸腔鏡下横隔膜縫縮術を施行した1例

[1]国立病院機構別府医療センター腎臓内科、[2]国立病院機構別府医療センター呼吸器外科
幸松　展央[1]、菊池　秀年[1]、河野恵美子[1]、岡本　龍郎[2]、福山　誠一[2]

O-063 エボカルセト導入後に急激な高カルシウム血症を呈した腹膜透析患者の一例

福岡大学医学部　腎臓・膠原病内科学
山本侑太郎、飯田　和弘、杉元悠太郎、伊藤　建二、井上　　和、多田　和弘、嶋本　　聖、氷室　尚子、三宅　勝久、升谷　耕介

第6会場：4F 409+410

一般口演9 ［急性・慢性腎不全］　9:00 ～ 10:10

座長：中村　　恵（佐賀県医療センター好生館　腎臓内科）
菊池　秀年（国立病院機構別府医療センター　腎臓内科）

O-064 下大静脈内腫瘤によりうっ血性の腎機能障害を呈し，間欠透析を行なった1例

[1]済生会福岡総合病院、[2]福岡大学医学部　腎臓・膠原病内科学
原　慎太郎[1]、村山　博之[1]、髙橋　宏治[1]、升谷　耕介[2]

O-065 抗糸球体基底膜抗体型腎炎により末期腎不全へ至り、透析導入5年後にANCA関連血管炎を発症した1例

社会医療法人同心会　古賀総合病院　腎臓内科
福岡　圭太、岩切太幹志、上田　紗稀、谷口　真典、杉山　史子、久永　修一

O-066 腹臥位保持困難な急速進行性糸球体腎炎に対してCTガイド下腎生検で診断し治療が奏功したIgA腎症の1例

[1]九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科、[2]九州大学病院 腎疾患治療部
林田　早希[1]、植木　研次[1]、落合　真子[1]、松隈　祐太[1]、杉山　友貴[2]、北村　博雅[2]、
山田　俊輔[2]、中野　敏昭[2]

O-067 急激に腎機能が低下し血液透析を要したIgG4関連疾患の一例

宮崎大学医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野
緒方　天勇、落合　彰子、久嶋奈央子、上別府　司、黒田　彩加、皆川　明大、馬場　明子、
菊池　正雄、海北　幸一、藤元　昭一

O-068 特発性多中心性キャッスルマン病にPLA2R染色陽性の膜性腎症を合併した1例

[1]産業医科大学第二内科、[2]産業医科大学腎センター、[3]産業医科大学第一病理、
[4]産業医科大学第二病理、[5]産業医科大学若松病院循環器内科・腎臓内科
蒔田　紀子[1]、長谷川恵美[2]、眞田　賢哉[5]、菅　　亮太[2]、永井陽一郎[1]、福壽　亮仁[1]、
熊澤　直哉[1]、名和田　彩[3]、片渕　瑛介[4]、宮本　　哲[2]

O-069 多量の非典型的結晶尿を認めた腫瘍崩壊症候群に伴う急性腎障害の一例

[1]飯塚病院　腎臓内科、[2]飯塚病院　血液内科、[3]飯塚病院　集中治療科
木村　佳奈[1]、福満　研人[1]、塩瀬　遥佳[1]、松尾　佳奈[1]、岡村のぞみ[1]、西田　明弘[1]、
津田麻理子[2]、川上　大裕[3]、藤﨑毅一郎[1]

O-070 糖尿病性腎症によるネフローゼ症候群を背景に高血圧緊急症を呈し，反復性後腹膜出血・血腫感染を来した一例

小倉記念病院　腎臓内科
岡本　和大、坪田　孝樹、深村　　光、眞崎　亮浩、木村　駿太、岩田　寛子、神山　治木、
中垣　仁博、桑原　郁子、原田　健司

O-071 急性腎障害を示した多発性骨髄腫および全身性アミロイドーシスの1剖検例

[1]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学、[2]福岡大学医学部病理学
髙津　利幸[1]、馬場　玲央[1]、井上　　和[1]、氷室　尚子[1]、渡辺　真穂[1]、多田　和弘[1]、
嶋本　　聖[1]、伊藤　建二[1]、三宅　勝久[1]、沖本　玲子[2]、青木光希子[2]、升谷　耕介[1]

O-072 短腸症候群に伴う二次性シュウ酸血症による結晶性腎症から血液透析導入に至った1例

[1]福岡大学筑紫病院腎臓内科、[2]福岡大学筑紫病院消化器内科、[3]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学、
[4]福岡大学医学部病理部
西浦　優亮[1]、岡田　美月[1]、平松　晶子[1]、盛田なつみ[1]、安野　哲彦[1]、阿比留聡士[2]、
久部　高司[2]、上杉　憲子[4]、升谷　耕介[3]

O-073 在宅での看取りを実現した高齢血液透析患者の1例―無床透析クリニックにできること―

医療法人英慶会　三愛クリニック
知念　澄志、田中三津子

一般口演 10 ［バスキュラーアクセス・装置］　10:15 ～ 11:25

座長：安永　親生（済生会八幡総合病院腎センター／高橋内科クリニック）
中村　秀敏（医療法人真鶴会　小倉第一病院）

O-074 AVG 作成後の上肢浮腫・うっ滞性潰瘍形成をサルベージした 1 例

福岡市民病院　血管外科
江口　大彦、久野　　朗、本間けんいち

O-075 人工血管径と留置する Viabahan のサイズの違いが開存率に及ぼす影響の検討

福岡赤十字病院　腎臓内科
森原　　梓、原　　雅俊、下村　凌雅、西道　晨陽、濱小路隆史、安宅　映里、中井健太郎、
徳本　正憲

O-076 流出路の問題だけではなく流入路の動脈にも CTO を認めた左前腕 RCAVF 機能低下の一例

福岡市民病院　血管外科
久野　　朗、本間　健一、江口　大彦

O-077 流出路の慢性閉塞病変に対するエコーガイド下針貫通法の手技および治療成績

福岡市民病院　血管外科
本間　健一、久野　　朗、江口　大彦

O-078 右大腿静脈カテーテル留置中に生じた有痛性青股腫の一例

[1]国立病院機構福岡東医療センター　腎臓内科、[2]国立病院機構福岡東医療センター　呼吸器外科、
[3]福岡県済生会八幡総合病院　血管外科
松永　悠里[1]、橋本　諒司[1]、荒瀬　北斗[1]、永江　　洋[1]、吉田　康浩[2]、郡谷　篤史[3]、
黒木　裕介[1]

O-079 通常アプローチ困難例に対する腋窩静脈経由カフ型透析カテーテル挿入の 2 例

医療法人社団信愛会　重松クリニック
天本宗次郎、吉田　淳一、木下　嘉明、竹中　克彦、重松　　勝

O-080 表在化上腕動脈の仮性動脈瘤切迫破裂に対しステントグラフトで救済した 1 例

医療法人社団信愛会　重松クリニック
天本宗次郎、吉田　淳一、木下　嘉明、竹中　克彦、重松　　勝

O-081 当院でのエコー下 VAIVT- エコーガイド下末梢神経ブロック手技を含めて -

医療法人　高橋内科クリニック
下池　英明、安永　親生、平山　遼一、乙藤　徳人、長嶺　裕介、藤田　晃弘、花田　真一

O-082 透析システム洗浄に向けたベンチュリ管式ファインバブル発生装置の開発と気泡動態評価（その１）

[1]医療法人才全会　賀茂クリニック、[2]オーラバブル株式会社、
[3]福岡大学　医学部　総合医学研究センター、
[4]北九州高専　生産デザイン工学科　知能ロボットシステムコース、[5]株式会社ジェイ・エム・エス
松嶋　哲哉[1]、小河原　悟[2]、立花　克郎[3]、蒋　　欣[4]、藤井　健一[5]、柳瀬　正憲[1]

O-083 透析装置洗浄消毒におけるファインバブル水と薬液併用による薬剤使用量低減効果の検討（その２）

[1]医療法人才全会　賀茂クリニック、[2]オーラバブル株式会社、
[3]福岡大学　医学部　総合医学研究センター、
[4]北九州高専　生産デザイン工学科　知能ロボットシステムコース、[5]株式会社ジェイ・エム・エス
松嶋　哲哉[1]、小河原　悟[2]、立花　克郎[3]、蒋　　欣[4]、藤井　健一[5]、柳瀬　正憲[1]

第７会場：4F 411+412

一般口演 11　［透析液・関連機器・消毒・透析条件 1］　9:00 ～ 10:10

座長：矢野　隆史（医療法人社団豊永会　飯塚記念病院）
山下　知士（社会医療法人福西会　福西会病院　臨床工学科）

O-084 透析低血圧（IDH）回避を目的としたSVVを用いた除水プロトコルの作成と有用性の検討

[1]産業医科大学病院　臨床工学部、[2]産業医科大学病院　腎センター
濵本　達矩[1]、大工園美香[1]、池田　小夏[1]、田中　将光[1]、高橋　一久[1]、菅　　亮太[2]、
長谷川恵美[2]、宮本　　哲[2]

O-085 透析開始時の著名な血圧低下にBloodVolume（BV）計が有用であった１例

[1]福岡市民病院 臨床工学部、[2]福岡市民病院　腎臓内科
川上　幸平[1]、橋本　大輔[1]、井上茉里子[1]、池田　裕史[2]

O-086 シングルニードル透析におけるSNQBと実測流量の比較

飯塚病院　臨床工学部
梅野　七美、東　　昌宏、秋島　実里、上村　愛未、諸正　知之、平井　祐美、小能見信悟、
藤元　哲也、白方　世菜、沖永　一樹

O-087 後希釈OHDFにおけるQD減量の試みと、QD減量時のQB増加による溶質除去効率について

医療法人社団兼愛会　前田医院
福田　隆太、藤原　伊吹、鶴田耕一郎、島田　慎二、前田　由紀、前田　兼徳

O-088 末梢静脈穿刺法による免疫吸着療法における血液流量設定の検討

[1]鹿児島大学病院　医療技術部　臨床工学部門、[2]鹿児島大学病院　血液浄化療法部、
[3]鹿児島大学病院　医歯学総合研究科　腫瘍学講座　泌尿器科学分野
中村　　拓[1]、早﨑　裕登[1]、中島　高博[1]、岩永　憲幸[1]、武田　弘隆[1]、佐潟　芳久[1]、
山田　保俊[2]、榎田　英樹[3]

O-089 JMS製透析情報システム　ERGOTRI-HT導入までの当院の取り組み

医療法人　康修会　かわい腎臓内科・泌尿器科クリニック
山口　翔一、陣山　麻里、渡辺　寛之、筒井　　亮、伏谷　智子、川井　康弘、川井　修一

O-090 透析効率比較からの総透析液流量削減の検討

福岡腎臓内科クリニック
荒谷　周作、清水　正剛、芝田慶太郎、谷口　正智、平方　秀樹

O-091 リンパック透析剤TA1からキンダリー透析剤5Eへの変更による電解質及び血糖変動への影響

[1]医療法人厚生会虹が丘病院臨床工学室、[2]医療法人厚生会虹が丘病院腎臓内科
大石　浩士[1]、窄口　伸也[1]、松田　隆志[1]、峰　　夢歩[1]、高石　佑季[1]、伊東山　貴[1]、
成瀬　健人[1]、鳥越　健太[2]、浦松　　正[2]、冨永　雅博[2]

O-092 A剤溶解装置AHI-502における吸湿固着トラブルの発生と対策

[1]小倉記念病院臨床工学課、[2]小倉記念病院腎臓内科
葛西　孝俊[1]、古賀　章太[1]、江藤　　拓[1]、植田　　颯[1]、伊藤　汐里[1]、天本美沙紀[1]、
片山　浩二[1]、桑原　郁子[2]、原田　健司[2]

O-093 個人用透析装置における洗浄液管理方法の見直し ―薬液取扱工程の削減と安全性の検討―

社会医療法人　緑泉会　米盛病院　診療支援部　CE課
浦田　潤志、守田　大樹、長井菜月希、宮田　恭佑、重久　祐菜、奥野　　稔、川原　未伎、
中尾　一俊、外口　久代、中原三佐誉

一般口演12　［透析液・関連機器・消毒・透析条件2］　10:15 ～ 10:43

座長：小畠　勝司（福岡大学病院臨床工学センター）

O-094 配管漏出トラブルとその1週間後の熊本地震により発生した塩素ガスへの対応

[1]医療法人　如水会　嘉島クリニック　臨床工学部、
[2]医療法人　如水会　嘉島クリニック　腎臓内科
大谷　拓也[1]、西村　典史[1]、石松　　秀[2]、嶋田　英敬[2]

O-095 透析用水作成装置更新後の装置内汚染を経験して

[1]医療法人如水会 嘉島クリニック、[2]医療法人如水会 腎臓内科
河内　悠夏[1]、大谷　拓也[1]、西村　典史[1]、石松　　秀[2]、嶋田　英敬[2]

O-096 過酢酸系洗浄剤ステラケアCAの性能評価

医療法人社団信愛会重松クリニック
大谷　圭史、三浦　正司、芝田大二郎

O-097 透析液ライン用中性除錆剤の使用報告

医療法人継匠会 上村内科クリニック
鶴田　和希、北岡　辰徳、松永　宏治、栗屋　佳祐、白谷　建人、米村侑季乃、上村　克哉、
石塚　俊紀

一般口演13 ［バスキュラーアクセス（メディカルスタッフ）］　15:00 ～ 15:35

座長：藤崎毅一郎（飯塚病院　腎臓内科）
川原田貴士（医療法人心信会　池田バスキュラーアクセス・透析・内科）

O-098 ウロナーゼ入手困難下における透析用長期留置カテーテル管理～20回ポンピング実施とその効果～

医療法人社団紘和会　平和台病院
原　　志野、北原　智子、松田　憲征、中野恵里香、川野みどり

O-099 透析終了時におけるVA観察の必要性

医療法人　誠医会　川冨内科医院
中山　絵美、山田　政和、増本　和也、川野　翔吾、藤川　貴耶、勝野　洋平、藤本美咲子、
小栁　純子、小畑　陽子、川冨　正弘

O-100 VA管理の標準化への取り組み～シャントエコーと穿刺難易度分類表を活用した情報共有～

宇土中央クリニック
渡辺　啄巳、桑俣　英明、稲崎　　渉、田代　文隆、田中　晋吾、久木山清貴、久木山厚子

O-101 頻回VAIVTを要する血液透析患者～介入頻度が減少した症例の検討～

長崎腎病院
佐藤　修一、射場　浩史、小嶋　幸徳、高木　伴幸、澤瀬　健次、舩越　　哲

O-102 エコー下VAIVT手技の標準化

医療法人　高橋内科クリニック
長嶺　裕介、平山　遼一、乙藤　徳人、藤田　晃弘、下池　英明

第8会場：4F 413+414

一般口演14 ［合併症（メディカルスタッフ）］ 9:00 ～ 9:56

座長：土本　晃裕（九州大学大学院　医学研究院）
永江　寛子（福岡大学病院感染制御部・薬剤部）

O-103 レオカーナ®第2クールと集学的治療により救肢を維持した透析患者CLTIの1例

[1]松下会あけぼの第2クリニック臨床工学部、[2]松下会あけぼのクリニック臨床工学部、
[3]松下会あけぼのクリニック腎臓内科、[4]松下会あけぼのクリニック整形外科、
[5]熊本リハビリテーション病院形成外科
吉武　和剛[1]、牧野　　稔[1]、太田　圭美[2]、徳冨　高志[2]、松下　恭久[3]、田中　元子[3]、
松下　和孝[3]、松下　和徳[4]、伊方　利勝[5]

O-104 非透析の包括的高度慢性下肢虚血を有する患者におけるレオカーナの使用経験

[1]福岡大学病院　臨床工学センター、[2]福岡大学病院　循環器内科
馬場絵里香[1]、藤田　崇史[2]

O-105 下肢切断後も在宅血液透析を継続し得た3症例の検討 ―HHD手技の工程別にみた下肢機能への影響度―

医療法人衆和会　長崎腎病院
堀　幸一郎、酒井すずな、大野　桜子、森田　輝海、澤瀬　健次、舩越　　哲

O-106 透析アミロイド症患者に対するフィルトールの使用経験

安立医院　ME科
兼次　誠也、国吉　　蘭、高江洲　裕、宮平　　晃、田里　　祥、古我知　駿、名嘉真友繁

O-107 当院における週一回投与製剤使用患者のＣＴを用いた体組成変化の検討

[1]医療法人誠医会　川冨内科医院、[2]医療法人　しもまえ泌尿器科クリニック
志方希代美[1]、佐野　千砂[1]、釣谷　樹里[1]、藤本美咲子[1]、小柳　純子[1]、小畑　陽子[1]、
川冨　正弘[1]、上条　将史[2]

O-108 非結核性抗酸菌M.abscessusによるPDカテーテル関連感染に対しアミカシンを投与し聴覚障害を生じた2例

[1]福岡大学病院感染制御部、[2]福岡大学病院薬剤部、[3]福岡大学薬学部腫瘍・感染症薬学研究室、
[4]福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学
永江　寛子[1,2]、野田　航平[2]、中野　貴文[3]、竹内　　亮[4]、伊藤　建二[4]、兼重　　晋[2]、
升谷　耕介[4]、戸川　　温[1]

O-109 維持血液透析患者の高脂血症におけるROC解析とペマフィブラートの長期使用効果

[1]特定医療法人社団三光クリニック、[2]福岡大学腎臓・膠原病内科、[3]福岡大学筑紫病院腎臓内科
上野　雅代[1]、藤　亜沙美[1]、下村　裕子[1]、上本　慶子[1]、渡邉　真穂[2]、安野　哲彦[3]、
伊藤　建二[2]、升谷　耕介[2]、斉藤　喬雄[1]

O-110 血液透析患者におけるジフェリケファリン酢酸塩投与後の掻痒症の経時的変化に関する検討

[1]医療法人社団松下会　あけぼのクリニック　薬剤部、
[2]医療法人社団松下会　あけぼのクリニック　腎臓内科、[3]崇城大学薬学部　医療薬剤学研究室
山本　清子[1]、神崎　莉旺[3]、甲斐　和美[1]、松下　恭久[2]、田中　元子[2]、門脇　大介[3]、
松下　和孝[2]

一般口演 15 ［リハ・運動・栄養管理］　15:00 ～ 15:35

座長：髙橋　宏治（福岡県済生会福岡総合病院　腎臓内科）
渡邉　真穂（福岡大学医学部　腎不全総合医療学）

O-111 交番磁界治療器エイトによる疼痛緩和の治療の2症例

医療法人英慶会　三愛クリニック
森山　早布、知念　澄志、宮崎　美穂、藤森　武夫、中島美穂子、田中三津子

O-112 高齢透析患者の生活再建を支援する認知・運動同時介入型スタンディングリハビリテーションの臨床的有用性

医療法人今村クリニック
峯浦　達雄、永井　温菜、武石真奈美、原　祥一朗、藤田　淳也、今村　克郎

O-113 透析患者の筋力回復に寄与した因子について～運動におけるチームアプローチの効果～

[1]医療法人才全会九州体力医学研究所、[2]医療法人才全会賀茂クリニック
倉光　寿史[1]、東原　清人[1]、松嶋　肖子[1]、松嶋　哲哉[2]

O-114 高齢透析患者における体重増加の内訳―体組成評価の有用性が示唆された1例

[1]大分大学医学部付属病院　医療技術部　臨床工学・歯科部門、
[2]大分大学医学部附属病院　腎臓内科、
[3]大分大学医学部附属病院　腎臓外科・泌尿器科、[4]大分大学医学部　臓器移植医療連携強化事業
幸野　正宗[1]、藥眞寺香奈[1]、木戸　智大[1]、福田　顕弘[2]、内田　大貴[2]、佐藤　吉泰[3]、
安藤　忠助[4]、秦　　聡孝[3]

O-115 CKD保存期から透析導入に至った高齢患者の多職種支援 ～透析予防指導から管理栄養士の立場より～

[1]医療法人社団松下会　あけぼのクリニック　栄養管理部、
[2]医療法人社団松下会　あけぼのクリニック　腎臓内科
北岡　康江[1]、津川　裕美[1]、松下　恭久[2]、田中　元子[2]、松下　和孝[2]